

平成30年4月24日

第14回独立行政法人農林漁業信用基金
支出点検プロジェクトチーム議事概要

1. 日 時：平成30年4月9日（月）16：30～17：30

2. 場 所：独立行政法人農林漁業信用基金第1会議室

3. 議事概要：

- (1) 平成29年度取組目標に係る取組状況について報告した。
- (2) 独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム設置規程第2条第2項の規定に基づき、平成30年度取組目標を設定し、引き続き目標の達成に向けて取り組んでいくことを確認した。

独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム
平成30年度取組目標

1. 平成30年度における予算の効率的・適正な執行

予算の効率的・適正な執行のため、以下の取組を実施する。

(1) 契約について

- 契約については、平成30年度調達等合理化計画を踏まえ、原則として一般競争等（企画競争を含む）の競争性の高い契約方式によるものとする。なお、一者応札・一者応募について引き続き精査を行う。

(2) 定期購読物について

- 定期購読物については、年度末までに翌年度における購読の必要性等を検討し、引き続き効率化に努める。

(3) タクシー使用について

- タクシーの使用については、使用基準に基づき、引き続き適正な執行に努める。

(4) その他

- 出張経費に係る割引制度（パック商品等）の利用、消耗品・備品（パソコン）の一括調達及びコピーの両面印刷等経費削減の取組については、引き続き実施する。
- 出張先でレンタカーを利用し、有料道路を通行する場合はETCカードを利用する。
- 役員会等のペーパーレス化を目指し、平成30年度上半期中にタブレット等の機器を導入する。タブレットの活用によりコピー代の削減を図る。
- 白黒印刷（コピー含む）の10倍の単価（約5円）であるカラー印刷については、必要性を十分考慮した上で行う。
また、大量に印刷する場合は、原則として外部に発注する。
- 少額随契については、オープンカウンター方式により見積書を公募して、発注業者の範囲を拡大し経費削減する取組を試行実施していたが、今年度より本格実施する。
- 会計検査院及び主務省の指摘事項等については、速やかに検討の上、支出に反映させる。

2. 一人一人の職員の意識改革

無駄な支出の削減に対する一人一人の職員の意識を高めるため、以下の取組を実施する。

(1) 職員からの提案の募集

- 「独立行政法人農林漁業信用基金業務改善提案・事務リスク自主点検等実施要領」（平成19年3月制定）により、引き続き、職員から経費の節減及び事務処理方法の効率化についての提案、その他業務の改善を図るために実施した取組事例についての情報を募る。

(2) 職員間での意識の醸成

- 各種会議や職員掲示板への掲示を通じて、本取組目標や職員から提案のあった有効な

業務改善について、引き続き周知を図る。

- O A 機器及び照明のこまめなスイッチオフに加え、事務室内蛍光灯の間引きや昼休み時間における消灯などを行うなど、引き続きエネルギー使用量の抑制に努める。

3. その他

当年度の支出状況等の点検結果を踏まえ、次年度の支出に反映させる。